

なんたん

No. **48**

農業委員会だより

令和 4 年 6 月号

緑の曲線で繋がる圃場



農業委員会のうごき.....	2~3
まちかど通信.....	4~5
地域農業を支える.....	6
農業委員会活動計画 他	7
なんたんあっちこっち 他	8

発行 南丹市農業委員会 編集 南丹市農業委員会広報委員会

〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

■電話 0771-68-0067 ■E-mail co-nougyo@city.nantan.lg.jp

■FAX 0771-63-0654 ■URL <http://www.city.nantan.kyoto.jp/www/gove/145/index.html>



農業委員会のうごき

農地取得の下限面積引き下げ決定（条件付き）

令和4年5月1日から、農地の所有者などからの申請により農業委員会が指定した農地を取得する場合に限り、農地法第3条の許可要件のうち、下限面積要件を1,000㎡から1㎡まで引き下げます。（条件不利地、かつ、小規模農家の参入により周囲に悪影響を及ぼさないと見込まれる農地に限り、農業委員会の議決を経て1筆ごとに指定します。農用地区域内農地などいわゆる優良農地は指定の対象なりません。）

他の自治体では、「空き家に付随した農地の別段の面積に関する特例」に限定して実施しているところが多いですが、南丹市では全国的にも例のない「空き家に付随した農地」に限定しない方式により導入します。

下限面積要件を引き下げることにより、農業へ参入しようとする方の農地取得を容易にし、新規就農者やUターン、Iターンの方の移住定住を促進するとともに、遊休農地の発生防止や解消を図ります。

・指定の対象になると想定される農地



隣接する農地がない



市街化区域内農地

・指定の対象にならないと想定される農地



面積は10アール未満であっても面的な広がりのある農地



農地性があるとは言い難い土地



全国農業新聞を購読しませんか。

農業経営と暮らしに役立つ週刊の農業総合専門誌です。農業者の視点で、さまざまな情報をお届けします。
発行日/金曜日発行（月4回） 発行所/全国農業会議所
購読料/月額700円（税込）

購読の申込は農業委員会事務局まで 電話 0771-68-0067



のうねん 農業者年金に加入しませんか?

加入者が語る、農業者年金の魅力

豊かな
老後生活のために!!



今回お話を聞かせていただいたのは、西田貴彦さん、芳恵さんご夫婦です。お二人は、ターンで新規就農され、現在「京都丹波高原食彩あん」で手作り無添加の安心安全なジャムを加工し販売されています。

農業者年金には、今年の2月にご夫婦で加入されました。農業委員さんから農業者年金について紹介され、ご自身でもインターネットなどでお調べになったそうです。子供さんが独立され、余裕ができたことと、国民年金だけでは不安なこともあり、老後のために農業者年金に加入されました。

加入の決め手となったのは、確定拠出型で安定した運用がされていることと、支払った保険料が全額控除されることだったそうです。貴彦さんは以前、会社員をされていたので厚生年金と国民年金に加入されていました。一方、芳恵さんは国民年金のみでしたので貴彦さんと一緒に農業者年金に加入することになりました。二人で加入することで控除される金額も大きくなります。税制面での優遇措置が一番の魅力だと語られていました。

今年から制度が改正され、35歳未満の方であれば1万円から加入できるようになりました。毎月の保険料は負担になるかもしれないですが、安心して豊かな老後のために、若い方が加入した方がいいと話されました。

また、厚生年金と国民年金に加入していた会社員が早期退職された場合、厚生年金がなくなり、国民年金だけになってしまいますが、農業をすることで、65歳未満まで農業者年金に加入できることが大変魅力だと語られていました。

今後は加工のレパートリーを増やしていきたいと笑顔で話されていたのが印象的でした。

日吉町田原
西田貴彦さん (左)
西田芳恵さん (右)



京丹波黒豆 (左) 京いちご (右)
西田さんの手作りジャム

新たな農業委員が1名就任しました!!

新規就任

- 名前: かたやま 片山 かつひこ 勝彦 委員
- 住所: 園部町大戸菖蒲ヶ谷8番地
- 電話番号: 0771-62-2491
- 担当地区: 船岡、高屋、大戸、熊原、佐切、越方



担当地区変更

片山勝彦委員の就任に伴い、杉森義弥委員の担当地区が変更になりましたのでお知らせします。

- 名前: すぎもり 杉森 よしや 義弥 委員
- 住所: 園部町曾我谷中土井5番地
- 電話番号: 0771-62-0409
- 担当地区: 上木崎町、河原町、内林町、木崎町、瓜生野、熊崎、新堂、千妻、曾我谷



地元で活躍されている方や農業に関する取り組み、
また、日々の生活に密着したまち情報をお伝えします！

まちかど通信

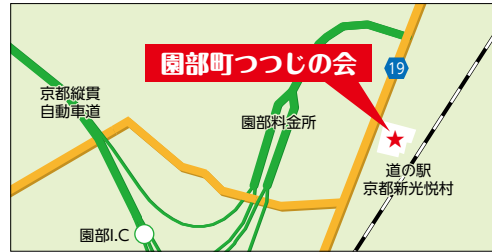
園部町つつじの会 (園部町曾我谷)

農家と消費者を繋ぐ架け橋に



「園部町つつじの会」は、道の駅「京都新光悦村」のオープンとあわせて、平成15年に販売活動を開始された女性の食品加工グループです。現在、旬の素材を使ったお弁当や巻き寿司の販売、オーダブルの注文販売も行なっています。

南丹市を始め京都丹波地方は、丹波栗や黒大豆、壬生菜や水菜など「京野菜」の産地のため、地産地消をモットーに、お米及びお肉、野菜は主



●住所：園部町曾我谷繩手15-3
●営業時間：9：00～18：00
●休業日：月曜日

に地元で採れた食材を使用しています。旬の野菜を提供していただく農家さんと、その素材を活かし販売する「園部町つつじの会」、そして販売された商品が必要としてくださる消費者の方々との良好な関係が成り立っています。道の駅部会代表の片山弥生さんは、「日本には、四季それぞれの素晴らしい味がありますが、その豊かな食文化を伝えていきたい」と笑顔で話されています。

(取材：内藤政博 委員)
… 杉森義弥 委員

SHARIFA&EVELYN (八木町神吉)

コーヒーとカレーとシフォンケーキの店

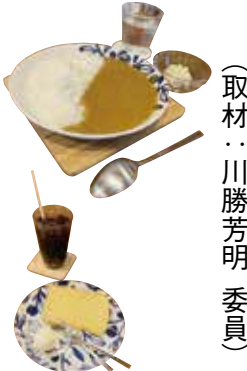


いでもらえない」と、笑顔で話されていました。おいしいコーヒーと、カレーとシフォンケーキを食べながらエール君を眺めるのはいかがでしょう。今後は、エール君の堆肥を使用して、循環農法に取り組み、地元の方に野菜を作ってもらい、その野菜を使ってカレーを作っていききたいそうです。

オーナーの中野芳寛さんは、15年前に八木町神吉に移住されました。農業をしたく土地を購入され、野菜作りをされていますが、地域を活性化させたいという思いから、令和3年11月にお店をオープンされました。夢であったポニー（エール君、4歳）も飼育されています。店内は落ち着いた雰囲気です。エール君を眺めることもでき時間を忘れてしまいます。中野さんは、「沢山のお客様に来て欲しいけれど、多くなりすぎるとゆっくりくつろ



●住所：八木町神吉東の里23
●営業時間：11：00～17：00
●営業日：金、土、日、月



(取材：川勝芳明 委員)

ミヨン ジェイピンさん (日吉町胡麻)

日吉町で農業始めました



ミヨンさんは、昨年3月に妻の千絵さんと息子さんの3人で南丹市の空き家バンクを利用して胡麻へ移住されました。

京丹後市の農家で1年間有機栽培を勉強され、自宅近くで60aの農地を借り、今年から本格的に有機野菜の栽培を始められました。

今年の5月には、昨年植え付けをした玉ねぎを収穫されました。

現在は「ぼから農園」で季節の野菜を、直接販売されて



いるそうです。

今後は消費量の多いジャガイモ・ナス・オクラ・きゅうり・万願寺唐辛子などを栽培し、冬野菜では、白菜、大根・人参などを栽培して、千絵さんの勤務されている(株)坂ノ途中へ出荷するほか、地域の方々へ直接販売を予定されています。

また、自身が栽培した白菜・大根・きゅうりなどで自家製キムチ作りにも取り組みたいとのこと。

(取材：前田利治 委員)

あゆみ工房 (美山町安掛)

地域と共にあゆみつづける工房



あゆみ工房は、平成28年度から一般社団法人あゆみ会が運営する障がい福祉サービスマニヤ(就労継続支援B型・生活介護事業)です。現在は平屋地域活性化センター(旧平屋小学校)を拠点として、下請け作業やアルミ缶収集分別作業、薪作業、美山蓮如滝観光ブルーベリー園への実習、美山町産のお米を使った米粉パンの製造販売などを行っています。特に北桑田高等学校美山分校や地元農家で収穫された野菜や、あゆみ工房で加工した果物を使った季節が味わえる米粉パンが人気です。

米粉パン販売風景



●住所：美山町安掛上ノ山17
●TEL：0771-75-9500
●公式HP：<http://ayumikai-kyoto.com>

あゆみ工房や地元のサロンで買っていた他に、移動販売車を使い南丹市役所・園部高等学校・北桑田高等学校にも販売をしています。

令和3年度京都式農福連携事業(6次産業化促進事業)に参画し、美山町産の米粉と卵を使用した米粉カステラ(仮称)の商品化に取り組んでいます。地域の方々に愛され、応援していただけるよう頑張っていきたいと思っています。

(文章：小関裕美施設長)
(取材：倉内 裕 委員)

地域農業を支える

あの人この団体!

地域農業の発展を目指し、力強く活動する
団体・個人を紹介します。

株式会社ぎばさん

利用者と地域の方の安心・安全・笑顔の為に!!

「おはようございます！元気な明るいあいさつで（株）ぎばさんの朝が始まります。就労継続支援A型事業所として職員8名、利用者23名その内約10名の方が八木町刑部の農場・作業場で仕事をされています。現在耕作している畑地は約1.2haと水耕栽培用

ハウス約200㎡で季節に応じた作物を栽培し、選果、袋詰め、流通まで一貫して行い、トマト・キュウリ・ナス・オクラなどの野菜から、大豆などの穀物までを地産地消で消費者に届くようにしております。取材に訪れた時は、水耕で水菜のベビーリーフが育つ



ていました。



代表者の方は、「もっと人の役に立つことがしたい！」との思いを強く持ち、色々な研修を受けられる中で、就労支援に出会われました。農業を通じて就労支援をしようという志で、令和2年7月により良い農地を求め八木町に越されました。地元の方々から優しく受け入れていただき、今では刑部地区と西田地区に農場を拡げられました。晴れの日には畑を耕し、作物の手入れ・収穫を行います。雨の日には畑に出られなくても、器具の手入れが

らパッカーシールの作成まで、利用者の方々が継続的に就労できるように工夫されています。

利用者の方々は農業で大地と作物に接していると、良い影響を受けられるようで、仕事に従事してしばらく経つと顔色も表情も良くなり、自らリーダー的な存在になる方もいるようです。もしかすると農業は自然の営みを人がお手伝いするからかもしれません。

代表の方は出来るだけ農薬など環境負荷のあるものを使わなくてもいいような農業を目指して、消費者の方にもより安心いただける作物を届けていけるようにしたいとおっしゃいます。

地元やほかの地域からも「高齢で農業が続けられない。作付けしてもらえないだろうか？」という声が寄せられていると伺いました。「もっと人の役に立ちたい」と志の実現を日々実践しております。

（取材：波部尚徳 委員）

農業委員会 活動計画表 (予定)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総 会	7日(木)	5日(金)	5日(月)	5日(水)	7日(月)	5日(月)	6日(金)	6日(月)	7日(火)
申請期日	20日(水)	19日(金)	20日(火)	20日(木)	18日(金)	20日(火)	20日(金)	20日(月)	20日(月)
現地確認	25日(月)	25日(木)	26日(月)	25日(火)	25日(金)	26日(月)	25日(水)	24日(金)	23日(木)

開催日	主な会議・事業名	
7月	11日(月)	荒廃農地等利用状況調査・農地パトロール (～15日)
8月	19日(金)	管内視察研修
	23日(火)	地域別検討会 (～24日)
10月	28日(金)	農業委員会だより「なんたん」49号発行
	下旬	農地等利用最適化推進施策の改善に関する意見書提出
11月	17日(木)	管外視察研修 (～18日)
1月	下旬	農業者等との意見交換会
2月	24日(金)	農業委員会だより「なんたん」50号発行

農地の賃借料情報

令和3年1月から12月までに締結（公告）された南丹市の賃借料水準（10アールあたり）は下表のとおりです。農地の賃貸借契約の際には、あくまで目安として活用してください。貸し手と借り手で十分に話し合い、お互いが納得できる額で決定してください。

■ 田(水稻)の部

(単位：円/10アール、筆)

		平均額	最高額	最低額	データ数	使用貸借(無償)データ数
市街化区域	園部・八木地域	—	—	—	0	0
市街化区域 以外の地域	園部・八木地域	5,100	10,000	2,100	31	119
	日吉地域	5,100	7,300	2,300	7	40
	美山地域	—	—	—	0	81
(参考) 南丹市平均		5,100	—	—	—	—

■ 畑(普通畑)の部

(単位：円/10アール、筆)

		平均額	最高額	最低額	データ数	使用貸借(無償)データ数
市街化区域	園部・八木地域	—	—	—	0	0
市街化区域 以外の地域	園部・八木地域	—	—	—	0	1
	日吉地域	—	—	—	0	1
	美山地域	—	—	—	0	2
	(参考) 南丹市平均	—	—	—	—	—

なんたん

あっちこっち

とにかく広い南丹市。
南丹市のあちらこちらで、地域ならではの魅力的な取り組みがされています。
そんな南丹市の、あっちこっちのできごとを紹介します。



農地保全管理と将来の農村を見据えて

園部町曾我谷地区の「農地環境保全作業部会」を訪問しました。

部会は、非農家の参加を含め農事組合、水利組合と連携して、鳥獣害対策や遊休農地の活用と保全管理、土地改良事業取組、そして会員相互の親睦をテーマに取組みをされています。

会員の親睦では、年度の懇親旅行や食事会と活発に活動されています。

会長の高屋昭平さんは、「部会の活動を通じ、耕作放棄農地の発生防止、助成金を活用した



事業の取組、作業や懇親会を通じたコミュニケーションの活性化を図るなど、明るく暮らしやすい農村の構築に努めています」と述べられています。

活動されている会員の皆さんは、「就業者の高齢化」、「耕作放棄農地の増加」など近い将来の農村を見据え、コミュニケーション溢れる明るく住みよい農村を作ろうと活動されています。

これからの農村のあり方を考えさせられる訪問でした。

(取材：杉森義弥 委員)

委員ぶらり旅

旅人：梅津義明 委員



「里の畔道を彩るスイセン」

美山町「かやぶきの里」で白や黄色のスイセンの花が畔道に彩を添えて咲きほこっています。

縁側で休んでおられた年配の女性の方に、昔話を聞きながらゆっくりとした時間を過ごさせてもらいました。

4月には、水辺に浮かぶ満開の桜に目を引かれがちですが、清らかな花を咲かせるスイセンもまた美しいと眺めていました。

来年も、このスイセンに囲まれた風景に出会えるのを楽しみにしています。

編集後記

「田植が始まった」と聞き、カメラ片手にかけつけました。四方を山に囲まれ、連なる山からの湧水で代かきをしたと聞きました。五月初旬に植え始め、緑の曲線で繋がる圃場。収穫量は少ないが自然の中での農作業が楽しいと話され、日焼けした額から流れる汗を拭う様子が活き活きとした姿に見えました。(谷口定己 委員)

地域の食と農業の情報紙『なんたん』

自慢の農作物・地域の積極的な取り組み・地元野菜の食べられるお店など、すてきな情報をお待ちしております。
農業委員会事務局 電話：0771-68-0067

- | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|
| 三崎 | 藤原 | 梅内 | 前田 | 井上 | 波部 | 橋本 | 小早川 | 内藤 | 内藤 | 寺尾 | 辻田 | 杉森 | 川勝 | 谷口 |
| 正子 | 忠司 | 義裕 | 利治 | 雅晶 | 尚徳 | 治樹 | 健一 | 政博 | 義延 | 榮治 | 義弥 | 芳明 | 定己 | 明己 |
- ◆広報委員会